

《蒼火》

图书基本信息

书名：《蒼火》

13位ISBN编号：9784163244600

10位ISBN编号：4163244603

出版时间：2005-11

出版社：文藝春秋

作者：北重人

页数：298

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu111.com

《蒼火》

内容概要

江戸で相次ぐ商人殺し。彼らは皆、死の直前に、間もなく大きな商いが出来そうなことを周囲に話していたという。一太刀で相手を絶命させる、そのあまりに鮮やかな手口。まるでそうせずにはおれないように、人を殺め続ける下手人ははたして誰なのか。若き周乃介が事件を追う。

《蒼火》

作者简介

北 重人（1948年1月3日 - 2009年8月26日）は、山形県酒田市生まれの小説家、造園家。本名、渡辺重人。

山形県立酒田東高等学校をへて、1971年、千葉大学工学部建築学科卒業。一級建築士、技術士建設部門（都市及び地方計画）資格取得後、ランドスケープコンサルタントの株式会社LAU都市施設研究所（現：LAU公共施設研究所）設立。造園コンサルタント、都市計画コンサルタント業務の傍ら執筆活動を続けていたが、妻や友人の勧めもあり、短編『陽ざかりの棗（なつめ）』をオール讀物新人賞に応募。最終選考まで残るが、決選投票で山本一力著『蒼龍』に敗れる。

1999年、『超高層に懸かる月と、骨と』で第38回オール讀物推理小説新人賞を受賞。

2001年、『蒼火』が第8回松本清張賞の候補作に。

2004年、思い入れのある『蒼火』を世に出すため執筆した続編『天明、彦十店始末』が、第11回松本清張賞の最終候補に。決選投票で山本兼一著『火天の城』に敗れるが、選考委員の大沢在昌と伊集院静の強い推薦により、出版が決定。異例の作家デビューとなる。出版時に伊集院静の案で『夏の椿』と改題。前日譚である『蒼火』も2005年には、めでたく出版の運びとなる。

2007年、『蒼火』で第9回大藪春彦賞を受賞。

2009年、『汐のなごり』で第140回直木賞候補。

2009年8月26日、胃がんにより死去。享年61。

《蒼火》

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:www.tushu111.com